

TC 46/SC 4/WG11 RFID in libraries 会議報告

場所：Library of Congress , Washington, D.C. USA

日時：2014 年 5 月 5 日 (月) 9:00-12:00 *実際は 9:10-10:55

参加者：デンマーク 2 (現コンビーナ Leif Andresen、新コンビーナ Preben Nielsen)、フィンランド 3 (SC4 議長 1 + 事務局 2)、スウェーデン 1 (SC9 の人 途中参加)、イタリア 1 (Monomi Paolo)、英国 1 (Brian Green)、米国 2、ドイツ 1、日本 1

1. Role Call

2. Approval of agenda

3. Introduction

3.1 General introduction

コンビーナの Leif から、昨年のミーティング以降の動きについて報告があった。

3.2 Ballot FDIS ISO 28560-1, ISO 28560-2, and ISO 28560-3

小規模改訂することになっている ISO28560-1、ISO28560-2、ISO28560-3 については、FDIS 投票が 2014 年 1 月 27 日から 3 月 27 日に行われた。投票の結果 FDIS は可決され、これらの規格は出版される運びとなった。

3.3 Update of RFID in libraries. Q&A

WG11 のウェブサイト (<http://biblstandard.dk/rfid/>) では、RFID と ISO28560 の関連情報を提供しているが、4 月に Q&A ページの更新を行った。

4. Future Work for ISO/TS 28560-4

新規に制定中の技術仕様書 ISO/TS28560-4 は、TS 投票が 2014 年 1 月 1 日から 4 月 1 日に行われ、賛成 21 の可決で出版される運びになった。また、SC4 議長の Juha から、日本が提案していた ISO28560-5 について、International Library Item Identifier として SC9 の NWIP とすべく、日本が SC9 総会でプレゼンテーションする予定であること等の情報提供があった。Leif や他の参加者から、Identifier のドラフトの内容等についていくつか質問が出された。

5. State of the Art Report for Libraries

図書館のための RFID の技術的動向と RFID のプライバシーに関する EU 規格の出版予定について、Green が editor である Paul Chartier (欠席) のメールを紹介した。RFID 技術はいまだに確立しておらず、今後も注視が必要であることが確認された。参加者からフィンランド、デンマークの導入状況などが紹介され、その後の議論で、日本をはじめとする他国の状況がどのようになっているかの調査が必要だとの結論になった。 決議案(10)

6. Any other business

6.1 New convener

今回で Leif Andresen がコンビーナを退くこと、新コンビーナの候補として Preben Nielsen が紹介され、承認された。 決議案(7)

参加者の一人から、Leif の貢献に感謝する文章を決議に盛り込むことが提案され、了承された。 決議案(1)

7. Approval of resolutions

決議案が検討され、以下の案で承認された。

(1) WG11 は、Leif Andresen の 7 年に渡るコンビーナとしての貢献と図書館のための RFID に関する規格開発に対する働きに感謝する。

(2) WG11 は、Tommy Schomacker の ISO 28560-3 の開発当時の貢献に感謝する。彼の辞任は残念だが、引退後の生活が良きものになるように祈る。

(3) WG11 は、Tommy Schomacker と Paul Chartier の ISO 28560-1、ISO 28560-2、ISO 28560-3 の小規模改訂に対する働きに感謝する。

(4) WG11 は、Paul Chartier の ISO/TS 28560-4 開発に対する働きに感謝する。

(5) WG11 は、Paul Chartier に、ISO/TS 28560-4 の最終版を 2014 年 5 月 13 日までにコンビーナに送付するよう求める。コンビーナは、その TS を SC4 事務局に送付する。

(6) WG11 は、ISO/TS 28560-4 に従って、Paul Chartier に、来年、RFID の開発に関する中間レポートを作成するよう求める。WG11 は、Paul Chartier に、そのためのアドホックな作業グループを設置することを指示する。

(7) WG11 は、Danish Standards に、WG11 の新コンビーナの候補として Preben Aagaard Nielsen を挙げてくれたことを感謝するとともに、SC4 に彼を W11 の新コンビーナとして推薦する。

(8) WG11 は、SC4 に対して、WG11 ウェブサイトに掲載する関連文書の作成が続けられるように、規格開発後も WG11 を継続させるよう依頼する。

(9) RFID に係る基本技術の開発速度はいまだに速く、RFID の規格もこれらの変化に対応していかなければならない。WG11 は、ISO28560 について、将来的に修正・追加の必要が出てきた際に対処できるようにしていく。

(10) WG11 は、Mick Fortune、Alan Butters、Vinod Chachra、Akira Miyazawa に対して、2014 年 6 月までに、各国での UHF 帯の RFID の図書館における導入状況をコンビーナに提出するよう求める。

8. Close of meeting